

# 今月の畜産物市況

## 牛枝肉・豚枝肉・鶏卵・食鶏

### 牛枝肉

#### いぜんとして強い

6月の相場は徐々にではあるが、強含みに推移してあげてきた。入荷はいぜんとして少なく並物の品不足は著しい。

この傾向は当分続くものとみられ、不需要期といえどもこの高値はくずれそうにない。

7月以降の相場も、今後入荷増が見込まれないところから、一時的な値下りはあるかもしれないが、この相場も当分の間は維持されるものとみられる。

### 豚枝肉

#### あまり多くは

6月は、月半ばまでは比較的安定していたが、下旬に入って加工筋の手当て買いが急増し、相場が20円方あがると、とたんに入荷も急増した。

7月以降も加工筋の手当て買いがあるので、比較的堅調な歩みを続けられるとみられるが、これから不需要期に入るし、また入荷増も考えられるので、あまり多くを期待できないのではないかと考えられる。

### 鶏卵

#### 少しは期待

6月いっぱい、いぜんとして底値圏内から脱出することができなかったが、月末には、農繁期による地場消費の増加と、暑さによる産卵の減少、産み疲れによって、入荷が漸減し、徐々に値の回復をみせている。

これからは暑さによる産卵減と、実質的飼養羽数の減少による影響が現われてくるものとみられるので、170円から180円台がみられるものと期待される。しかし、一般消費の伸びは鈍化してしまっているので、一時の入荷があれば再び値くずれすると考えられる。

### 食鶏

#### もちあい

ブロイラー、親メスとも6月頃まで持ちあいできたが、6月半ば以降、末端消費が鈍り、10円方下げた。これからも特別な好材料がみあたらないので、弱もちあいであろう。